

現役ママの声を議会に!

林 さえこの柏市議会 Report NO.20



新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に心よりご冥福をお祈りするとともに、罹患された方にお見舞い申し上げます。今回の柏市議会 Report では、これまでの柏市のコロナ対応をまとめます。

コロナと柏市議会

3月定例会と休校要請



通常通り 2 月末に召集された定例会の開会日の段階では、コロナの影響が徐々に拡大に向かっていることは感じながらも、先が見通せない状況でした。議会ではマスク着用、密を避けるために委員会の開催場所が広い部屋になったことで日程が変わりました。

そして、28 日にあの全国一斉休校要請が突如発表され、通常通りの調査や質疑の準備を行いながら、休校要請に対する柏市の対応を確認し、各課に必要な要望を行う忙しい毎日が始まりました。



5月8日臨時議会まで

定例会が終わった後は議会 Report をまとめ、いつもは車で配布するのですが、緊急事態宣言が出されたことで断念。郵送やポスティング、SNS のみでお届け。その後は国の施策と、各自治体の対応を調査し、柏市にも要望を行って来ました。特に連休中の相談窓口、支援の確保などを強く求めました。(その他の主な要望は別表に記載)

コロナ対応補正予算のための臨時議会は、通路に机を置くなどして密を緩和。議案質疑は短く、私の持ち時間はわずか 10 分でした。国保加入者への傷病手当金が自営業やフリーランスに支給されない問題や、各種料金の免除などについて指摘しました。

6月定例会



6 月定例会は、いつも 1 時間の一般質問がなんと 20 分に! 議会はもともとそれほど密になる場所ではありませんし、議場に出席する議員を半分に抑え、残りは委員会室で傍聴、答弁のない職員は欠席という措置も取られました。もちろんマスク着用、空気の入れ替え、アルコール消毒、後半は衝立も設置されています。

いつもと違う莫大な補正予算が動き、様々な行政対応をチェックしなければならぬコロナ禍にこそ、いつも以上の質疑時間が確保されるべきです。時間の短縮は議会軽視であると反対しましたが、保守系と公明党会派が実権を握る議会運営委員会で押し切られてしまいました。20 分の中でできる限り多く主張するための苦肉の策として、今回は 4 つの項目を要望にとどめ、答弁時間を短縮しています。

《発行》 2020.7.14
柏市議会議員 林 さえこ

プロフィール・各SNSはこちらから→



《問い合わせ》
林 さえこ事務所
& 市民ネットワーク・かしわ
〈事務局:火水金 9:00~13:00〉
〒277-0011
柏市東上町 2-28
第一水戸屋ビル 3F
Noblesse Oblige
TEL: 080-7628-7737

問い合わせ先が変更になりました!

3月~4月の主な要望

- 休校までの猶予期間の確保
- 学童保育の拡充
- 子どもの居場所の確保
- 障害児家庭への配慮
- 図書館の予約貸出サービスの再開
- 卒業生への配慮
- 各家庭のオンライン環境の整備
- PCR検査体制の拡充
- 国保料金等の値上げ中止
- 中小企業支援
- 非正規職員の収入低下の防止
- 住宅支援の拡充



2020年第2回定例会

定例会が6月5日(金)から6月24日(水)まで行われました。本会議の録画は柏市のHPで見ることができます。

6/15(月)林 さえこ一般質問項目

- ① 感染防止対策と福祉、教育の保障
- ② ハウジングファースト
- ③ 脱プラスチック
- ④ 種苗法等、農業政策の影響
- ◎ 給食のフードロス防止(◎は要望)
- ◎ 柏市中小企業支援給付金
- ◎ こども食堂とフードバンク
- ◎ 学校教育における経験の不足

「一般質問」とは、市の事務の執行状況の報告や計画について市長や担当部長に質疑し、市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

コロナ対応 補正予算



より早い支援を

4月初旬から、コロナによる経済的な影響が強くなるようになり、多くの自治体が独自支援を打ち出し始めました。

柏市でどのような支援策を検討しているの

柏市議会で可決した コロナ対応補正予算の概要

○は国や県の事業 ●は柏市独自事業

5 月 臨 時 議 会	一般会計補正	462億4959万円
	国保会計補正	1740万円
	○ 特別定額給付金 (435億7400万円)	
	● 柏市中小企業支援給付金	
	○ 子育て世帯への臨時特別給付金	
	● 児童扶養手当受給世帯 緊急支援給付金	
	○ 住居確保給付金	
	○ 放課後デイサービス支援	
	● ウチめし柏プロジェクト	
	○ 国保傷病手当の支給	
柏市独自施策の補正予算は …… 約20億円		
6 月 定 例 会	一般会計補正	4億8074万円
	給食会計補正	1740万円
	● 指定管理者への損失補償	
	○ 保育料、保育園給食費返還	
	○ 学校給食事業者への損失補償	
	● 予備費の増額	
柏市独自施策の補正予算は…2億2290万円		
6 月 定 例 会	一般会計補正	4億9555万円
	○ ひとり親世帯臨時特別給付金	
	○ オンラインドリルの導入	
	○ 学校教育活動の再開支援	
	● 福祉施設職員感謝の環プロジェクト	
	○ 妊婦分娩前ウイルス検査	
柏市独自施策の補正予算は…… 5700万円		

※その他の事業は予備費等で対応

か、なかなか情報が出てこなかったため、臨時議会の資料配布まで具体策が何もわかりませんでした。補正予算や独自施策は議会でしっかり審議すべきですが、緊急事態であることを理由に専決処分で補正予算を通した自治体も多くありました。柏市で臨時議会を招集したことは評価できますが、国会で予算が通ってからの招集になったため、他市よりも支援策の発表が遅れたことは否めません。

給付事業は時間が掛かるため、市民生活の負担を軽くする水道下水道料金の減免、国保料金値上げの撤回などを求めましたが、残念ながら受け入れられず、市民への直接の支援は、5月8日から始まったひとり親家庭への緊急支援給付金が一番早いものになりました。

柏市中小企業支援給付金

コロナ対応で柏市が独自に打ち出した支援策の中で、一番金額が大きいのは柏市中小企業支援給付金です。売上が前年同月と比較し、20パーセント以上減少した市内中小企業を対象にしている、50%以上売り上げが減少しないと対象にならない国の持続化給付金と比べても利用しやすく、好評だと聞いています。

しかし、今年1月以降に開業した企業や、売上20万円未満の小さな企業は給付対象にはなりません。また、7月までの任意のひと月の売上減少が要件であるため、住宅設計士など遅れて影響が出る業種は救済されません。市内事業者への影響を更に分析し、制度設計を見直してほしいと要望しています。

ひとり親世帯への支援を

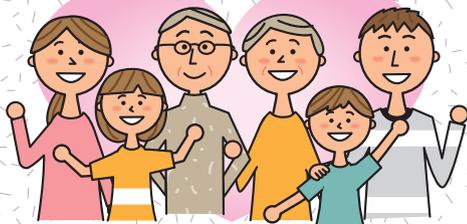
6月定例会ではひとり親世帯臨時特別給付金が決まりましたが、これは国の政策で、100%国庫補助金で行うものです。その前の5月の臨時議会でも児童扶養手当受給世帯への緊急支援給付金の予算が通りましたが、こちらは柏市独自の支援策です。ひとり親の多くがシングルマザーですが、その約半数が相対的貧困状態です。すでにギリギリの生活をコロナ禍が襲い、私に関わるフードバンクにも、シングルマザーから支援を求める多くの声が届きました。柏市の独自支援策が少しでも負担を軽くしてくれることを願います。

福祉・教育の保障

民生委員児童委員の活動停止

感染防止対策によって暮らしが大きく制限される中、市民生活上で必要不可欠な機能、例えば福祉事業所や保育所などは最低限の運用を続けてきました。しかし、市民生活に影響があるにもかかわらず、あっさり休止した事業もありました。

特に、民生委員児童委員の活動が完全にストップしたことは問題です。コロナによる突然の重篤化、死に至るケースも報道される中、独居高齢者の安否確認もされていませんでした。委員の安全確保は優先されるべきですが、訪問活動の代わりに電話による聞き取りなど、できることを行うべ



きだったと考えます。

どんな状況でも福祉や教育についてはできる限り保障していくという立場に行政は立つべきです。

図書館の全館休館

図書館も、千葉県の緊急事態宣言より前、休校と同時に閉鎖し、丸3か月間も停止してしまいました。

そもそも図書館はクラスターが起きやすい施設ではありません。真っ先に休館したこと自体に疑問を持ちますし、しっかり対策を取ればインターネット予約貸出はもっと早く再開できたはずで、休校で学校教育が十分ではない時こそ、図書館が子どもたちの学びを補完すべきです。予約貸出や配達を行う自治体もあったにも関わらず、読書ニーズが高まったステイホーム中の全館休館には、市民から多くの失望の声が聞かれました。

兵庫県明石市では、外出できない子どもたちのため、図書館の絵本を届けるという事業を行っています。柏市の図書館は生涯学習の拠点として、市民の学びを保障する努力が足りなかったと感じます。

ハウジングファーストを

ネットカフェ難民

4月、休業要請によって、ネットカフェなどで暮らしている人が住まいを追われる心配がありました。千葉県は市原の消防学校を開放しましたが、柏を生活圏にする人がそこに行くことは現実的ではありません。

東京では近年、ネットカフェで暮らす方は路上ホームレスの3倍近くいると言われています。非正規で働いていて、少ないながらも収入があり、シャワーやコインランドリーを使って身ぎれいにできるので、一見困窮しているようには見えませんが、住所がないため正規雇用や賃貸契約、医療に繋がることが難しく、敷金礼金にできる貯金もありません。孤立がもたらす情報不足から、自ら相談窓口に繋がることも難しい状態です。感染拡大防止の休業要請は、このようにすでに家を失っていた人の暮らしに、直接的な影響を与えたと予測できます。

シェルター機能の拡充を

生活支援の担当部署は今抱えている案件で手一杯で、積極的に困窮者に繋がる対応はできていません。柏市にネットカフェに長期滞在する方がどれくらいいるのか、どこの部署も把握していませんでした。調査を求めると同時に、せめて住宅支援の拡充をと要望し続けたところ、住居を失った市民の一時避難先として、市営住宅5部屋が確保されました。しかし残念ながら利用は進みませんでした。救済事業なのに家賃を取ることは論外ですが、4月1日時点で柏市の住民登録があることが要件になっているのが問題です。ネットカフェ難民は住民登録がない可能性も高いのに、なぜこのような制度設計にしたのか、強く抗議しました。

住まいの確保は生活の基本です。住居確保給付金や福祉貸付金などの支援策もありますが、それだけでは十分とは言えません。今後もシェルター機能を確保し、生活困窮者の自立支援の場として、また生活保護受給までのつなぎとして活用すべきです。この問題は今後も引き続き取り上げていきます。

休校とオンライン授業



突然の休校要請

安倍首相が専門家や教育現場の意見を十分聞くことなく、突如発表した休校要請に対して、柏市の小中学校は、3月2日(月)からではなく、4日(水)から一斉休校になりました。

しかし、この休校要請の時点で、子どもは感染しても発病しづらく、発病しても軽症で済む可能性が高い、また子ども間でうつしあう恐れも低いことが、中国の経験からわかっていました。日本小児科学会でも、「学校の休校や保育施設の休園は、感染防止効果が乏しく、子どもの心身に及ぼすデメリットが大きい。」とする報告書を発表しています。※日本小児科学会「小児の新型コロナウイルス感染症に関する医学的知見の現状」より

休校は子どもたちばかりか保護者の生活にも大きな影響を与えます。教職員の負担も大きく、私は休校まで十分な猶予期間を確保するよう求めましたが、結局わずか2日間で対応することになってしまいました。特に小学校6年生や中学校3年生が、卒業までの貴重な日々を奪われてしまったことを、悔しく思います。

休校延長と環境整備

通常3月には学習指導範囲のほとんどが終了していることから、休校による学習の遅れについて、教職員も当初は心配していなかったそうです。しかし、休校措置は「春休みまで」から「5月連休明けまで」に延び、最終的には「5月末まで、6月初旬も分散登校」になりました。私は休校延長を見越し、4月7日の要望書で、オンラインによる授業や生活指導の実施、タブレット端末やモバイルWi-Fiの貸出を求めましたが、教育委員会によって各家庭のオンライン環境の調査がされたのは4月後半、端末の貸出は連休明けになりました。

また、柏市教育委員会は独自の教育動画を作成していましたが、ログイン画面のURLやパスワードは書面で1回配布されただけでアクセスしづらく、動画が増えても広報されないため、活用が進みませんでした。



オンライン導入の学校差

一方、独自にオンラインの導入を進めた学校も見受けられました。柏市立手賀東小学校では、全児童にタブレット端末を貸し出し、4月からまず高学年で同時双方向型のオンライン授業を取り入れ、その後低学年でも1日2時間、朝の会や授業をオンラインで行いました。同時に教職員が週に1回、家庭にプリントや図書を持って行き、代わりに宿題などを回収する「テガニ便」を実施しています。アナログとデジタルの良いところを組み合わせ、休校に対応した好事例です。手賀東小学校は市で一番児童の少ない小規模特認校であり、端末がすでに揃っていたこと、デジタル機器に詳しい教職員がいたことなども実施の後押しになったと考えますが、今後のオンライン導入の参考になります。

一方、ひたすら計算プリントなどの宿題を出すに留まった学校も多く、休校中に子どもたちの学力格差が開いた恐れは否めません。6月定例会では千葉県が進めるオンラインドリル導入の補正予算が通りましたが、今後効果的な活用ができるのかは未知数です。

学校は勉強するだけの場所ではありません。オンライン学習があれば休校しても大丈夫という訳ではありませんが、今後どのような状況でも、また様々な立場の子どもでも学び続けられるよう、そのための手段の一つとして活用してほしいと考えます。

現役ママ議員としゃべろう

くらしと政治の
おはなし会

ご希望の方には、出張開催やオンライン対応もいたします。ご相談ください。



くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。

第39回 8月23日(日) 10:00~12:00

第40回 8月24日(月) 10:00~12:00

Noblesse Obligelにて(柏駅東口徒歩8分)

柏市東上町2-28 第一水戸屋ビル3F

参加費：無料 それぞれ5人まで

申し込み：事務所にご連絡ください。